

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

保健師

業務紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

保健福祉部 (令和6年4月1日時点)	保健福祉総務課	保健福祉事務所・保健所(5)
	社会福祉課	
	医療政策課	
	県立病院再編室	
	医療人材対策室	
	長寿社会政策課	
	健康推進課	
	疾病・感染症対策課	
	子育て社会推進課	
	子ども・家庭支援課	子ども総合センター、児童相談所(3)、女性相談支援センター、さわらび学園
	障害福祉課	リハビリテーション支援センター
	精神保健推進室	精神保健福祉センター
薬務課		
国保医療課		



(令和5年5月1日時点)
保健師数 130人

業務紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

	市町村	政令指定都市	保健所（県）
役割	住民に身近で利用頻度の高い保健、福祉サービスの実施	地域保健の広域的・専門的・技術的拠点	
機能及び業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種保健サービス等の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりの推進 ・ 介護予防 ・ 高齢者保健福祉 ・ 母子保健 ・ 児童福祉 ・ 精神保健福祉 ・ 障害福祉 ・ 女性保護 等 ● 市町村の保健医療福祉計画の策定・推進 ● 連携及び調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所や市町村内の関係部局及び関係機関との連携を密にし、総合的な調整を図り、効果的な保健活動を展開する。 ● 健康危機管理に関する住民への啓発・地域の体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康なまちづくりの推進 ● 広域的・専門的・技術的保健サービス等の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉対策、難病対策、感染症対策、母子保健対策等の保健サービス等の実施 ● 保健医療福祉情報の収集、管理、分析、評価及び共有 ● 地域住民の生活に密着した調査・研究 ● 市町村支援及び市町村間の連絡調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管内市町村の健康施策全体の調整・支援 ・ 市町村職員等に対する人材育成 ● 災害等の健康危機管理体制の整備 ● 企画及び調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種保健医療福祉等の計画策定への関与 ・ 包括的なシステムの構築 	

- 特徴：広域的で専門性の高い業務**
- 難病や結核等の療養者、精神障がい者等の相談・支援
 - 市町村や医療機関等と連携した地域ケアシステムの構築
 - 感染症発生時の疫学調査や保健指導
 - 思春期ひきこもりやアルコール関連の専門相談
 - 医療施設等に対する指導監査 等

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県仙台市
- ◆ 入庁までの経歴 : H28.3月 県内大学卒業 → H28.4月 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁9年目）

H28.4月～ **仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）岩沼支所**

地域保健班：感染症対策、結核対策、難病対策など

H31.4月～ **気仙沼保健福祉事務所（気仙沼保健所）**

疾病対策班：感染症対策、結核対策、難病対策など

R2.4月～ **疾病・感染症対策室**

感染症対策班：結核対策、新型コロナウイルス感染症対策など

R3.4月～ **新型コロナ調整室**

宿泊療養施設調整班：宿泊療養施設の運営管理など

R4.4月～ **仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）**

母子・障害第二班：ひきこもり支援、管内市町と連携した母子保健体制整備、にも包括構築など

志望動機

◆ なぜ公務員？

保健師の最もベーシックな勤務先が「自治体」と考えたから。

◆ なぜ宮城県庁？

保健所業務（特に感染症対策）に関心があったから。

地元では「宮城県」と「仙台市」という選択肢があったが、

自らの住まいを管轄する自治体と勤務先を別にしたかった。

これまでに担当した業務の紹介

塩釜保健所岩沼支所～気仙沼保健所（H30～H31（R1））



Plan 資料作成からセミナー開催まで
— 活動計画策定 —



目標 感染症対策に係る正しい知識の普及啓発
現場で活用できる視覚的資料の作成・提供

方法

- ① モデル施設のラウンド
- ② マップの作成
- ③ 感染症予防普及啓発事業
- ④ 効果測定

これまでに担当した業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

D₀ 洗浄・消毒箇所を色で区別

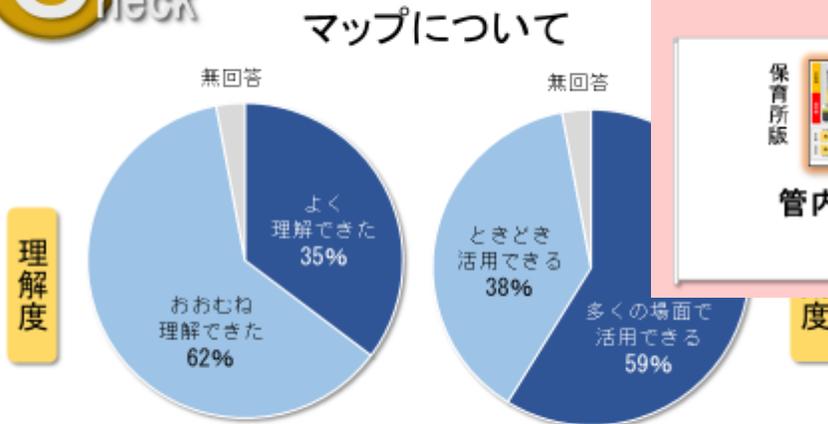
カラーマップ

平常時
流行時

汚物処理室 廊下(欄干物あり) トイレ(発症者の個室)

平常時と流行期で
洗浄・消毒

C_{heck} 現場で活用できると



マップを作成・配布するだけでなく
セミナー内でマップの活用方法を説明することによって
より**具体的な活用イメージを周知**できた。

A_{ct} 改善に向けた活動方針

マップの活用状況や課題等を調査

施設職員等の意見を反映 **ブラッシュアップ**

保育所版 給食施設 ○○施設

管内のニーズに応じて、高齢者・障がい者施設以外の
社会福祉施設向けにマップの改変を検討

これまでに担当した業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

疾病・感染症対策室（R2）

みやぎアラートの
検討・運用
R2.7.13～11.4

健康相談窓口
(コールセンター)
R2.2.4～

宮城県感染制御チーム
派遣
R2.9～不定期



これまでに担当した業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

新型コロナ調整室 (R3)

医療調整本部における
入院等調整
R2.12.10~

宿泊療養施設の
設置・運営
R2.4.16~

宿泊療養施設のPPE



サージカルマスク



ガウン(不織布・ビニールタイプあり)



N95マスク(種類多い)
自分の顔にフィットするものを選択



手袋(ニトリル サイズL,M,S)

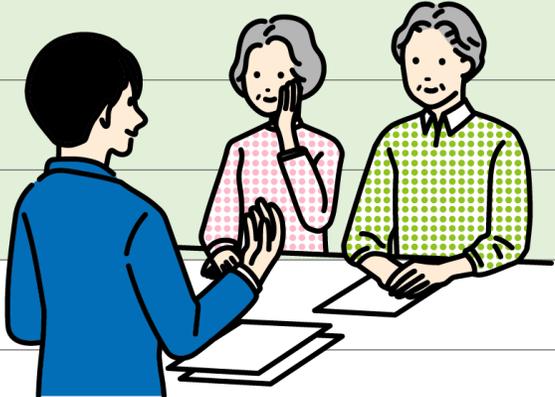


ヘアキャップ

現在の担当業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイ。

ある1日のスケジュール

06:50	起床	
07:30	出発	
08:30	出勤	
09:30	家庭訪問（精神疾患を持ち通院しながら地域で生活する方とその家族）	
11:00	関係機関と電話で情報共有	
12:00	休憩（デスクで作り置きのおかずを詰めた弁当を食べたり、仮眠をとったり、同僚と会話したり…）	
13:00	ひきこもり・思春期ころの相談 準備 → 13:30 開始	
16:30	報告書作成	
17:30	（デスク周りを整頓して）退庁	
18:30	帰宅	
23:30	就寝	

仕事をする上で心がけていること

保健所は地域の健康危機管理の拠点

- 感染症発生時の疫学調査、保健指導
- 警察官通報等を契機とする措置入院の運用
- 災害時保健活動（他自治体に向けた公衆衛生活動チームや健康危機管理支援チーム（DHEAT）の派遣を含む）
- その他、公衆衛生を脅かす事態への対策
（新型コロナウイルス感染症、高病原性鳥インフルエンザなど）

虫の目・鳥の目・魚の目

アサーティブ
コミュニケーション

宮城県職員の魅力

多様性

職場内外で様々な人材と交流し、知見がひろがる
広域的な人事異動があるから、毎年新しい雰囲気働ける

人材 育成

「みやぎ人財育成基本方針」や
「宮城県保健師育成プログラム」に基づく現任教育体制

WLB

ワークライフバランスを支える
休暇・休業制度（部分休業、短時間勤務など）や福利厚生制度

私の公務員試験対策

得意分野を見極めて
さらに強化する

集団討論を重視
「何を話すか」よりも
「どう聞くか」

時事問題を把握する

・・・国家試験対策も計画的に

先輩職員からのメッセージ

入庁後、学生時代に得た知識や技術は次々と過去のものになり、果たして自分が現場で職務を果たせるのだろうかと不安を抱えていました。しかし、自分が県民の人生に寄り添う仕事をしていると気付いてから、これまでのあらゆる経験＝「私」の人生を今の職務に役立てられると考えるようになりました。先輩の熱心な指導のもと、後輩から刺激を受け、同期と励まし合いながら、単なる知識や技術だけでなく「私」の全てを活用して日々の地域保健活動に取り組んでいます。

そうして県民の皆さんのほっと安心した表情を見られたとき、宮城県の明るい未来を願う人々と出会い、ともに危機を乗り越えたとき、保健師としてこの上ないやりがいを感じます。

これからも多様な経験を持つ仲間たちと刺激し合いながらたゆみなく成長していきたいと考えています。

～私たちの仲間になって一緒に働きませんか～

－宮城県の保健師の活動は以下でも紹介されています－

◆宮城県人事委員会事務局総務課任用班ホームページ [こちら](#)

◆宮城県医療人材対策室看護班ホームページ [こちら](#)